

6 章 鋼製橋脚設置工

6.1 鋼製橋脚設置工

6章 鋼製橋脚設置工

6.1 鋼製橋脚設置工

1. 適用

陸上での鋼製橋脚設置工事に適用する。

2. 数量算出項目

鋼製橋脚の基数と架設鋼材質量、地組鋼材質量、現場溶接延長を区分ごとに算出する。

3. 区分

区分は、規格とする。

(1) 数量算出項目及び区分一覧表

項 目	区 分	規 格	単 位	数 量	備 考
アンカーフレーム架設	×		基		
アンカーフレームグラウト注入	○		m ³		
鋼製橋脚地組	×		t		
鋼製橋脚地組連結	×		箇所		
鋼製橋脚架設	×		t		
鋼製橋脚架設ブロック	×		ブ ロ ッ ク		
鋼製橋脚	×		脚		
鋼製橋脚膨張モルタル注入	○		m ³		
鋼製橋脚無収縮モルタル注入	○		m ³		
現場溶接	×		m		平均板厚 t = mm
ビード仕上げ	×		m		
トルシアボルト	○		本		
足場	×		掛m ²		

4. 数量算出方法

数量の算出は、「第1編（共通編）1章基本事項」によるほか下記の方法によるものとする。

- (1) アンカーフレームモルタル注入量はアンカーフレーム1基ごとに算出する。
- (2) 鋼製橋脚膨張モルタル注入は総量を算出する。なお、脚毎の内訳も算出する。
- (3) 鋼製橋脚無収縮モルタル注入は総量を算出する。なお、脚毎の内訳も算出する。
- (4) 現場溶接はビード仕上げの有無に関わらず総延長を算出する。
- (5) ビード仕上げは必要な場合のみ算出するものとし、総延長を算出する。
- (6) 足場

足場は「第1編（共通編）11章仮設工11.4足場工」によるものとする。

- 1) 足場面積の算出は、下記のとおりとする。なお現場条件、橋脚の構造および施工方法等でこれによりがたい場合は、別途算出するものとする。

